

63 期生

# 2 年生学年だより



豊中市立第五中学校 2015 年 11 月 4 日(水) No.22

## ～学年朝礼の様子です～ 前期議員さんと後期議員さん のあいさつ&紹介です！



1 学期から半年間頑張ってくれた前期議員さんから最後のあいさつがありました。

### 1 組

\*最初は前に立つのが苦手でしたが、今は少しましになりました。初めてで分からないことばかりでしたが、教えてもらってよい経験ができました。

\*後期は生徒会の会長として頑張りたいと思います。今よりパワーアップしていけたらよいと思います。

### 2 組

\*学年代表をさせてもらいました。自分から積極的に行動するのが難しかったですが、これを糧にして頑張りたいと思います。

\*はじめはすごく緊張しました。学年目標には少し近づいてきているけれど、まだ出来ていないこともあると思います。次の議員さんたちに協力し、味方になりたいと思います。

### 3 組

\*しんどかったけど、じぶんなりに頑張りました。  
\*クラスや学年の雰囲気を変えるのはとても大変でした。しかし、みなさんのおかげで雰囲気は変わってきています。この調子で頑張っていってほしいと思います。

### 4 組

\*あまり議員としてできないこともありましたが、次は生徒会の方でも頑張っていきたいと思います。

\*議員は3回目でしたが、議員らしいことはあまりできませんでした。議員ができて良かったと思います。



## 後期の議員さんたちです

### 1組

\*はじめての議員ですが、やるからには一生懸命頑張りたいと思います。

\*議員をやるのは3回目ですが、今までの議員さんの頑張りを引き継いでやっていきたいです。

### 2組

\*はじめてなのでうまくできるかわかりませんが頑張ります。

\*議員ははじめてだからうまくできるかわかりませんが、前期の議員さんたちのように頑張ります。



後期も頑張ろう2年生!

### 3組

\*他の人よりもできないことが多いかも知れませんが頑張ります。

\*前でしゃべるのが苦手なのですが、自分なりに頑張りたいと思います。

### 4組

\*話し合いが途中で止まって進まない時もありますが頑張ります。

\*はじめてだけど他の議員さんと頑張りたいと思います。

## 聞き取り学習がありました

講師の方3人にお越しいただきお話をききました。これから進学、就職など将来に向けて自分の進路を考えていかななくてはならないみなさんのために、仕事を選んだ理由、やりがい、苦労することなど、ご自身の中学生時代の話などを交えながらわかりやすく語っていただきました。





## ★町づくりセンターこども園★

人権まちづくりセンターの1階にあります。今年から名称が“子ども園”に変わり、19の保育園と7の幼稚園が合体して豊中全体で26の子ども園になりました。

私は20歳の時から保育士の仕事についています。私には10歳下の妹がおり、子どもの時に母と共に保育園にお迎えに行く中で、その雰囲気にかかれ、保育士を目指すことになりました。

私たち保育士が日ごろ大事にしていることは子どもたち一人一人の気持ちを大切にすることです。例えば0歳の子どもでも、自分の気持ちを指差ししながら伝えてくれようとしています。私たちはそうした子ども達の気持ちをくみ取り、話をじっくり聞き、気持ちに寄り添います。

保育士は子どもたちの成長を感じることができるすばらしい仕事です。命を守る、大切にすることとは自分を大切にすることであり、子どもたちには命を大切にすることになってほしいと思います。そうして今まで見守ってきた子どもたちが成長し、そしてまた地域の小さな子どもたちを見守り大切にしてくれる、成長したみなさんもそんな風に小さな子どもたちを守ってあげてほしいと思います。

## ★あい動物病院★

私は三中出身で齋喜先生とはコーラス仲間です。そうしたご縁でこうしてみなさんと出会うことができました。ずっと豊中で育ち、今こうしてあい動物病院で仕事をしています。

私の仕事は主に動物たちの健康相談や病気の診察、手術なども行います。時には猫たちの繁殖や病気を防ぐための不妊手術も行いますが、繁殖を防ぎ、将来起こりえる病気を防ぐことは猫たちにとってとても大切なことで、長く元気に生きるために飼い猫や野良猫にこうした手術を行います。最近では餌に不自由しなくなったことから野良猫たちが増え、残念なことにこうした猫たちが社会にうとまれる存在になってしまうこともあります。不妊手術をしなければ、1匹の猫が年間3回の出産で毎回8匹ほどの子猫を出産し、生後6か月でお母さん猫になれることから、2年間で234匹にも増えてしまいます。もともと子猫は産まれても数匹しか生き残ることができずたくさん産んでも死んでしまう、だから一度の出産でたくさんの子猫を産むのですが、最近では生き残る猫がたくさんおり増えすぎてしまうのです。そのため、どうやったら増えすぎことを止められるのか、ということを考えなくてはならないのです。

私がこの仕事を選んだ理由は動物が好きだったことと、女性でも辞めずに一生続けられる仕事であるからです。高校2年生の時に獣医師になろうと考え、それからは一筋にこの仕事を続けています。仕事に行きたくないと思ったことはこれまでに一度もなく、私にとっては天職だったのかもしれない。もちろんつねに緊張感もあり、動物が亡くなるなど辛いこともあります。動物たちが生きている間幸せであるように、飼い主さんが幸せであるように、そのお手伝いできればと思っています。



## ★上塚耳鼻咽喉科看護師★

自分の母が看護師だったこともあり、物心つく頃から「自分は看護師になるもんなんだ」という思いで育ってきました。兄が難病であったこともあり、たくさんの方々にお世話になり地域で育ててもらいました。

中学生時代は生徒会で熱心に活動していましたが、一方で勉強は大の苦手でした。しかし、看護師になるためには専門学校や大学に通い勉強をしなくてはならなかったのも、あわてた私は先生に相談をし、「あきらめるな、お前ならできる!!」とはげましてもらいながら勉強を続け、なんとか高校へ進学することができました。その後もあいかわらず勉強は苦手でしたが、看護師になるという気持ちを持ち続け、専門的な知識を得るために看護の専門学校へ入り、実際の病院での実習も行いました。病院での実習を通してたくさんのことを学び、また少しずつですが勉強も克服していきました。時間もお金もかかりましたが、気持ちを支えてくれた人たちに本当に感謝をしています。

看護という仕事はとても大変です。患者さんにとってこのケアは本当に必要なのか？ということを中心に考えます。その人を思い浮かべ、なぜだろうと考えていくと、まるで点と点がつながるように分かることがだんだんと増えていきます。看護に必要なことはやさしさや思いやりです。思いや生き方、見方や感じ方は一人ひとり違いますし、相手は自分とは違います。何をしてほしいのか、何を分かってほしいのかということを理解し、関わっていくことがとても大切なことなのです。

